

# 災害時の 食の教本

新潟モデル

— デジタル活用で安全・安心を —

一般社団法人 健康ビジネス協議会では、昨年度から経済産業省の委託(補助)事業により、「災害の際にさまざまな弱みを持った人たちが食事で困らないために」どのような工夫が必要かといった趣旨で検討を進めています。

今回は、今年度採択を受けた「令和3年度地域産業デジタル化支援事業」により、「食」と「水」をテーマとした「防災×デジタル」に関する新たなビジネスモデルの開発事例や、市町村を対象に作成を進めている「災害時の食の備えに関するガイドライン(新潟モデル)(市町村活用資料編)」の紹介を中心に、ハイブリッド形式でのシンポジウムを開催します。

日時

2022年1月12日(水) 13:30~16:30

場所

朱鷺メッセ 3階 中会議室301 新潟市中央区万代島6番1号  
(YouTube配信) 配信は、1月19日(水)まで行っております。

## PROGRAM

### 1. 講演

- (1) デジタル技術を活用したビジネスモデルの構築事例について  
経済産業省関東経済産業局
- (2) デジタル技術を活用したビジネスの創出に向けて  
●ホリカフーズ株式会社  
「スマートサプライECを活用した新たなビジネスモデルの構築」  
●明和工業株式会社  
「IoTを活用した上水道監視サービスモデルの構築」
- (3) 「災害時の食に関するガイドライン(市町村活用資料編)」の進捗状況について  
日本災害食学会副会長 別府 茂  
(災害時の「食」と「水」に関する新潟モデル開発事業プロジェクトリーダー)

### 2. パネルディスカッション

コーディネーター

別府 茂

パネリスト

ホリカフーズ株式会社 目黒 智 智大部長

国立健康・栄養研究所 国際災害栄養研究室 笠岡(坪山) 宜代室長

新潟県防災局防災企画課 大淵 活朗 副参事

五泉市こども課 刈田 麻衣子 主査

公益財団法人 中越防災安全推進機構 河内 毅 マネージャー

### 3. 災害食、おもいやり災害食の展示、提供、説明

日本災害食学会に認証を受けている「災害食」、一般社団法人 健康ビジネス協議会の認証を受けている「おもいやり災害食」の実物の提供及びメーカーとの懇談の時間を設けます。



#### 申込方法

参加希望の方は、裏面の「参加申込書」を記載の上、E-mailまたはFAX・郵送にて、一般社団法人 健康ビジネス協議会までお申し込みください。(会場参加、オンラインともOKです。)(会場参加定員 40名) 先着順のため、ご希望多数で会場参加の定員に達した場合はオンライン参加にさせていただくことがあります。オンライン希望の方には、1月11日(火)までにテキストを添えて、受講用URLをお送りします。

申込期限: 2021年12月27日(月)

主催 |  一般社団法人 健康ビジネス協議会

後援 | 経済産業省関東経済産業局、新潟県

お問い合わせ先 | 事務局 担当/佐々木、熊倉 TEL.025-246-4233 FAX.025-250-1117 E-mail.info2@kenbikyuu.jp